

スマートガレージ  
操作アプリケーション  
操作説明

株式会社 システムデザイン

# 1. 画面構成

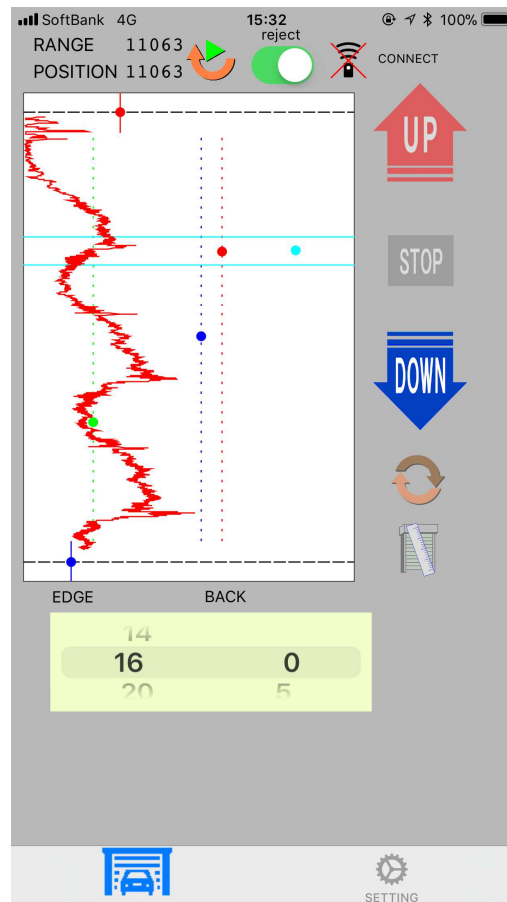
Bluetooth を使用するので、スマートフォン、タブレット本体の設定から Bluetooth 機能を ON する必要があります。

\* Android をお使いの場合、位置情報を ON(高精度モード)にする必要があります。

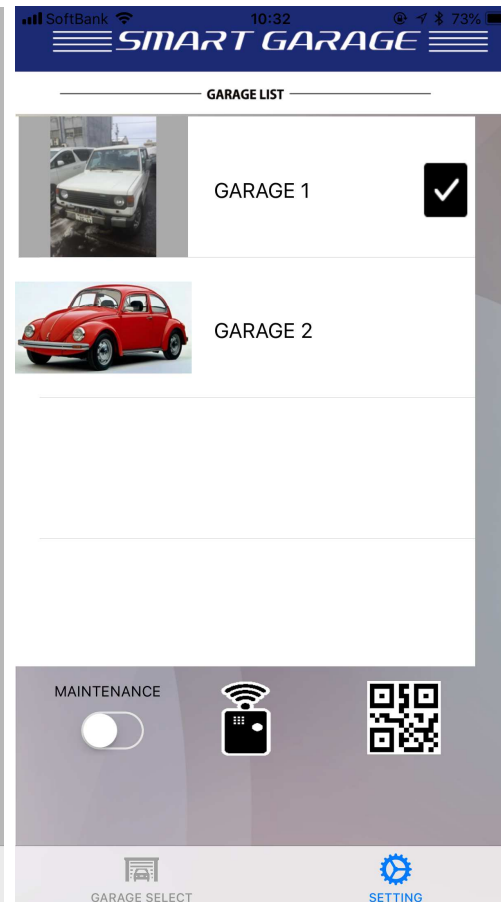
メイン画面



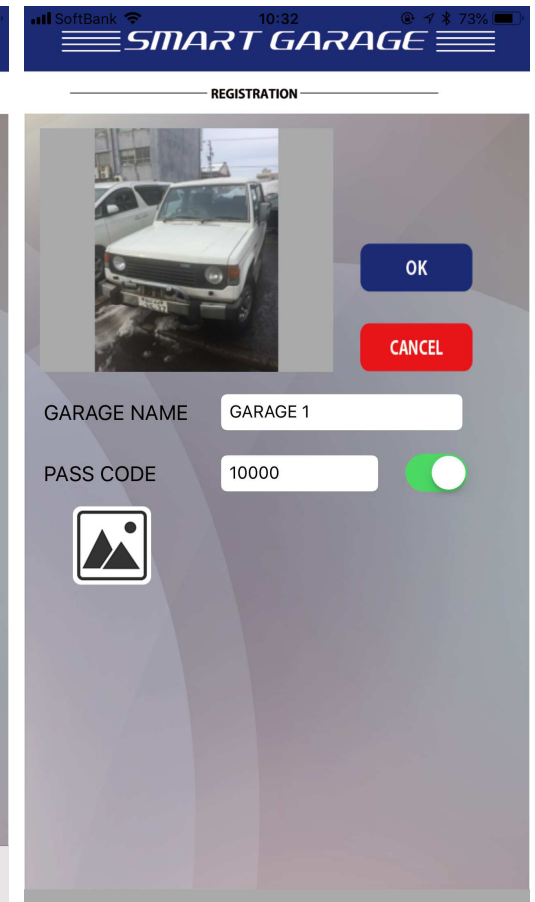
調整画面



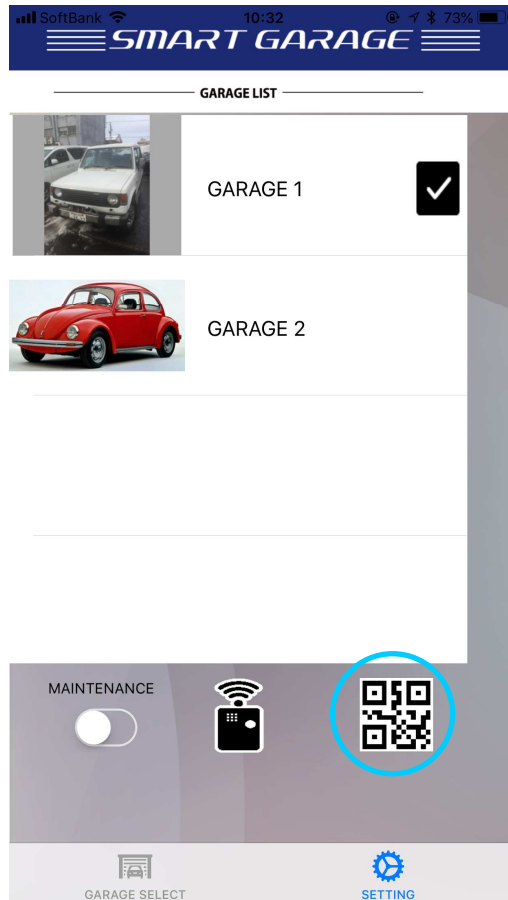
ガレージ選択画面



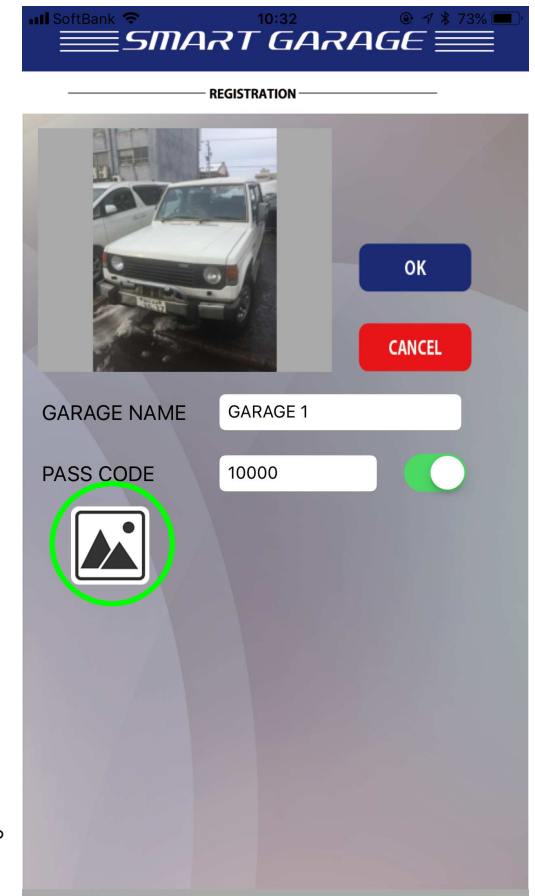
ガレージ登録画面



## 2. ガレージ登録方法

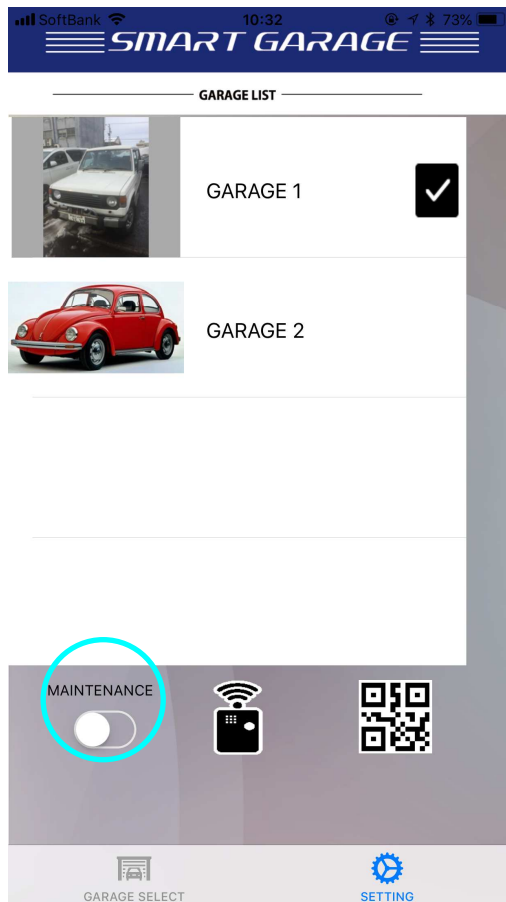


- ・ ガレージ選択画面を開きます。
- ・ 製品付属のQRコードを読み込んで、新たなガレージを登録します。  
(同スマートホンに同じQRコードは登録できません。)
- ・ **青丸**で囲んだQRコード読み取りボタンをタップしてガレージを登録します。
- ・ リストのガレージを左をフリックすると、登録済みのガレージの編集、削除が出来ます。

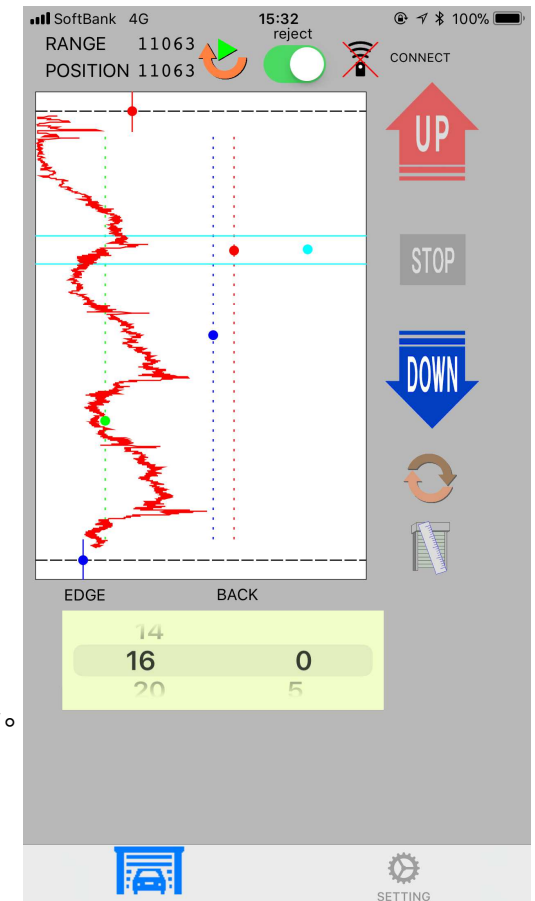


- ・ QRコードを読み込むと、登録画面が表示されます。
- ・ ガレージの名前、写真、パスコード有無、パスコードが変更出来ます。
- ・ ガレージの写真は**緑丸**で囲ったボタンをタップして、設定したい画像を選択してください。
- ・ 初めて登録したガレージは、パスコード有無、パスコードの変更はしないでください。
- ・ メンテナンスモードではパスコードが必要となります。
- ・ OKボタンをタップして登録します。

### 3. シャッター調整手順



- ・ガレージ選択画面を選択します。
- ・電動シャッターの調整をするガレージをリストから選択します。
- ・青丸で囲ったメンテナンスモードボタンをタップして、通常モードからメンテナンスモード(ノブが右側)に変更します。
- ・この状態でメイン画面に戻ると、調整画面が表示されます。



- ・初めて調整する場合、右の画像の様なグラフ表示はされていません。
- ・まず、登録したガレージに接続出来るか確認します。



←接続ボタン



←切断ボタン

- ・接続ボタンをタップしてガレージに接続を試みます。
- ・ガレージへの接続が成功すると、接続ボタンが切断ボタンに切り替わり、接続/切断ボタンの右に[CONNECT]と表示されます。UP ボタン、DOWN ボタン等も使えるようになります。

# 調整画面の説明

The screenshot shows a mobile application interface for adjusting a shutter. At the top, it displays 'ftBank 4G', '15:33', and 'reject' status. Below this, 'RANGE 11063' and 'POSITION 11063' are shown. The main area features a graph with a red waveform and a green horizontal line. To the right of the graph are buttons for 'UP', 'STOP', 'DOWN', '設定同期 ボタン', and '調整開始 ボタン'. At the bottom, there are input fields for 'EDGE' (14, 16, 20) and 'BACK' (0, 5). A 'CONNECT' button and a 'reject' switch are also visible.

RANGE : シャッターの長さのカウント値  
POSITION : シャッターの位置のカウント値

上死点と判定する電流値の設定用のポイント

リセットボタン

リジェクトエリア ON/OFF スイッチ

接続/切断ボタン

接続状態表示

リジェクトエリア設定用のポイント  
シャッター下降中に、突発的に緑の実線の制限値を超えてしまう場合に、青の破線の制限値で制御する位置と範囲を設定

シャッター UP ボタン

シャッター停止ボタン

シャッター DOWN ボタン

設定同期 ボタン

調整開始 ボタン

シャッター上昇中の電流制限値の設定用のポイント

シャッター下降中の電流制限値の設定用のポイント

シャッター下降中の電流変化制限値の設定用のポイント

下死点と判定する電流値の設定用のポイント

EDGE : 上下死点を判定する判断範囲 [cm] の設定

BACK : 安全(緊急)停止後のシャッターの戻り距離[cm] の設定

EDGE	BACK
14	0
16	5
20	

## シャッターの調整

- α. スマートガレージの機械部分取り付け直後の場合、シャッターは全閉状態なので、シャッターを少し開けるため UP ボタンをタップしてシャッターを開けます。
- β. シャッターが 20~30cm 程度開いたところで、STOP ボタンをタップして停止します。停止したら調整を開始するために再接続します(切断ボタン → 接続ボタン)。

γ. 再接続したら、調整ボタン  をタップして調整を開始します。


δ. まず、シャッター上昇時の調整を行います。

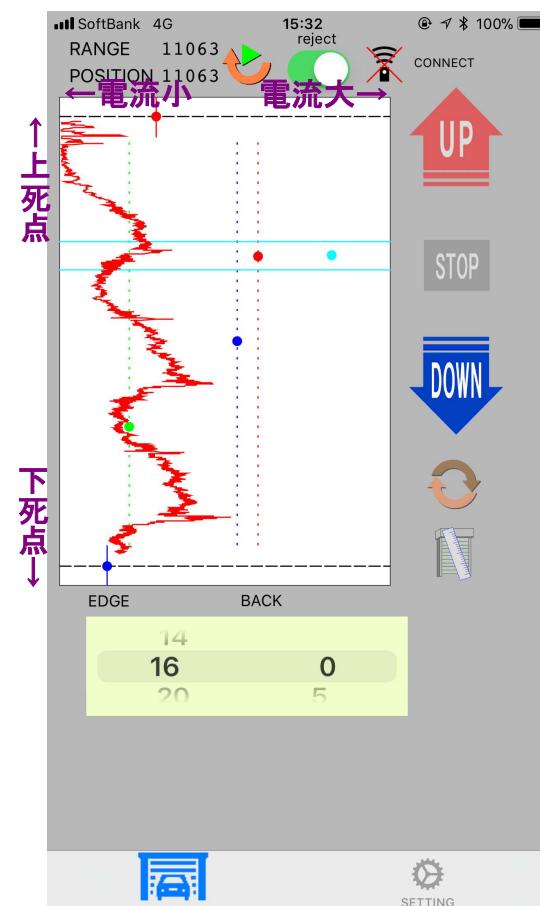
スマートホン画面の下部に「安全を確認して DOWN ボタンをタップしてください」を表示されるので、DOWN ボタンをタップしてシャッターを下げて、全閉状態にします。シャッターが下がると、「閉まりましたか? 確認して UP ボタンをタップしてください」と表示されるので、UP ボタンをタップしてシャッターを上昇させます。

- ε. シャッターが上昇していくに連れて、右の画像の様なグラフが描画されていくので、シャッターが止まるまで待ちます。  
シャッターが上昇途中で止まってしまう場合は、上昇中の電流制限値を超えているので **シャッター上昇中の電流制限値の設定用のポイント** をグラフの右側へ移動させて  
上昇中の電流制限値を上げてから、再度調整を初めからやり直してください。  
(ある程度のマージンをとって設定します)

シャッターが上端付近で止まる場合は、

**上死点と判定する電流値の設定用のポイント**  
をグラフの右側へ移動させて、止まらないように調整します。

シャッターが全開するようになったら、設定同期ボタン  をタップして設定します



と、次に下降時の設定を行います。

DOWN ボタンをタップして、シャッターを下降させます。

シャッターが下降していくに連れて、右の画像の様なグラフが描画されていくので、シャッターが止まるまで待ちます。

シャッターが途中で止まらずに全閉状態になった場合は、ここで調整終了となります。

\* 調整終了の場合は同期する必要はないので、設定同期ボタンのタップは不要です。

シャッターが下降途中で止まってしまう場合には、以下の設定を追加して行います。

・ 下降途中で止まってしまう場合は、

下降中の電流制限値を超えているので

**シャッター下降中の電流制限値の設定用のポイント** (縦方向の青の破線)


**シャッター下降中の電流変化制限値の設定用のポイント** (緑の実線)

をグラフの右側へ移動させて下降中の制限値を上げます(ある程度のマージンをとります)。

・ シャッターが下端付近で止まる場合は、

**下死点と判定する電流値の設定用のポイント**

をグラフの右側へ移動させて、止まらないように調整します。

調整後に設定同期ボタン  をタップして同期をしてから、再度調整を初めからやり直して、動作確認をしてください。

シャッター下降時にシャッターの引っ掛かり等により、偶発的に制限値を超えてしまい停止することがあります。


その様な状況が発生する場合はリジェクトエリアを使用します。

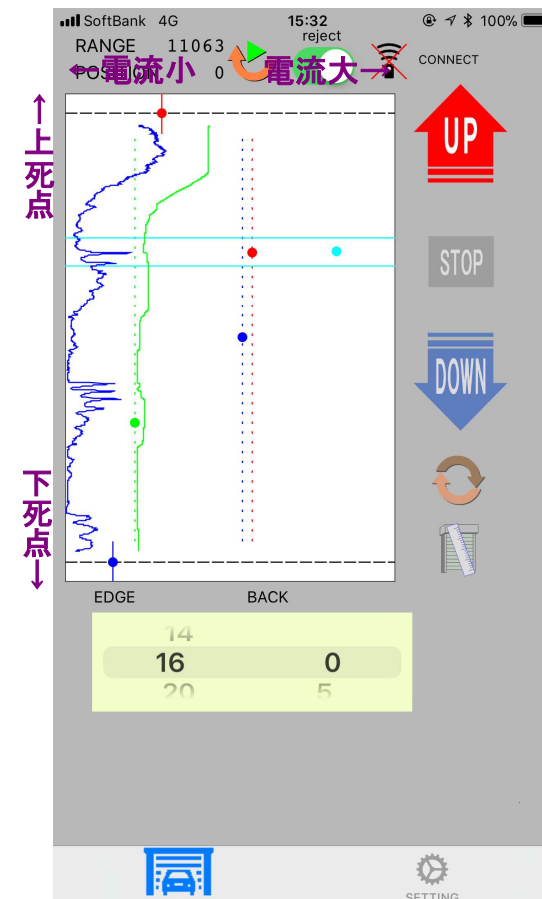
リジェクトエリア ON/OFF スイッチをON(ノブが右側)にします。

すると、**リジェクトエリア設定用のポイント** が表示されます。

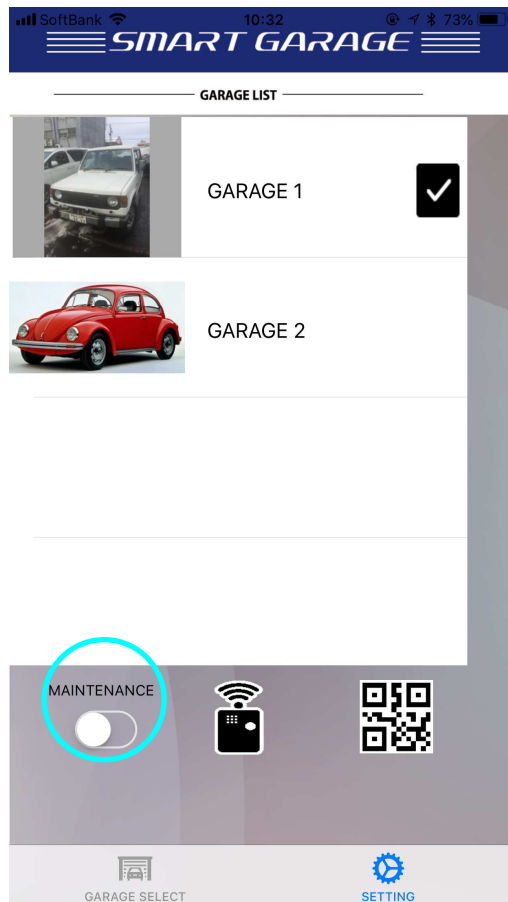
偶発的に止まってしまう位置(上下方向)に移動させ、左右方向に移動させて、そのエリアが含まれるように範囲を設定します。

設定したリジェクトエリアでは、**緑のライン(曲線)**の制限値ではなくて、**青の破線**の制限値で制御します。

調整後に設定同期ボタン  をタップし同期をしてから、再度調整を初めからやり直して、動作確認をしてください。



## 4. 通常モードでのシャッターの開け閉め



- ・ ガレージ選択画面を選択します。
- ・ 青丸で囲ったメンテナンスモードボタンをタップして、通常モード(ノブが左)に変更します。
- ・ この状態でメイン画面に戻ると、通常モードのシャッター開閉操作画面が表示されます。



- ・ 上昇ボタンをタップするとシャッターが上昇します
- ・ 下降ボタンをタップするとシャッターが下降します
- ・ 停止ボタンをタップすると動作中のシャッターが停止します。
- ・ ガレージ部分には、設定した画像が表示されます。



## 5. 通常モード時の上昇ボタン、下降ボタンのタップ時の効果音のカスタマイズ

### ・ iOS の場合

a. SmartGarage のアプリを終了させます。アプリを終了させてからでないと更新されない場合があるので停止させます。

ホームボタンのある端末の場合

ホームボタンをダブルクリックして、起動しているアプリの一覧(アプリスイッチャー)を表示させます。

その一覧に SmartGarage のアプリがあれば、画面外に SmartGarage のアプリをスワイプして停止させます。

ホームボタンのない端末の場合

画面下部から上方向にスワイプ、または、画面下部を左右になぞるとアプリの一覧(アプリスイッチャー)が表示されます。

その一覧に SmartGarage のアプリがあれば、画面外に SmartGarage のアプリをスワイプして停止させます。



SmartGarage のアプリが一覧にあれば、  
上方向にスワイプして終了させる

- b. iOS 端末を iTunes がインストールされているパソコンに接続して音声データをコピーします。  
iTunes を起動して、iOS 端末をパソコンに接続してください。  
iTunes で以下の画面 (接続した端末のファイル共有のページ) を開きます。



ファイル共有の App 一覧にある“SmartGarage”を選択すると、右側に“SmartGarage の書類”の一覧が表示されます。  
ここに カスタマイズ用の MP3 の音声ファイルをドラッグ&ドロップしてください。  
コピーが出来ると、“SmartGarage の書類”の一覧に その MP3 ファイルが表示されます。

iOS 端末をパソコンから切断して、SmartGarage のアプリを起動してシャッターを動作させて効果音がカスタマイズされているか確認をしてください。

- \* 複数の MP3 ファイルをコピーしないでください。
- \* MP3 ファイルを変更する場合、前に使用していたファイルを削除してから、新しい MP3 ファイルをドラッグ&ドロップしてください。
- \* カスタマイズ用の MP3 の音声ファイルは再生時間が短いものにしてください(3 秒程度まで)
- \* s\_garage.dat、s\_remo.dat は削除しないでください。

・ Android の場合

a. SmartGarage のアプリを終了させます。アプリを終了させてからでないと更新されない場合があるので停止させます。

マルチタスク ボタンがある場合

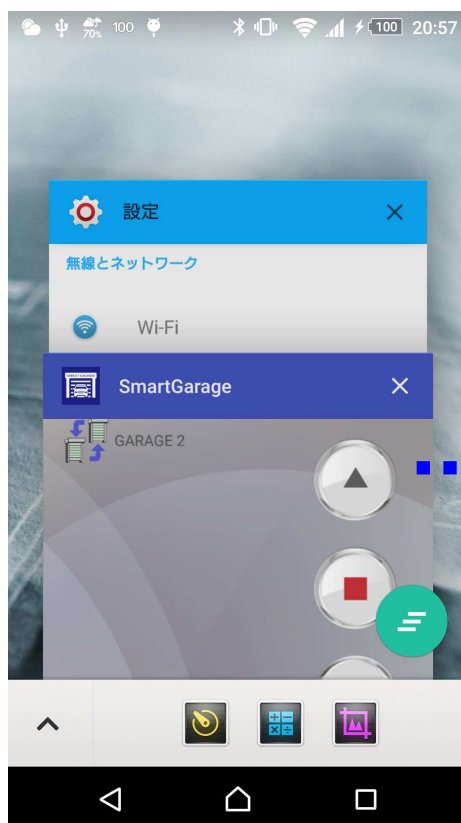
マルチタスク ボタンをタップして、起動しているアプリの一覧を表示させます。

その一覧に SmartGarage のアプリがあれば、画面外に SmartGarage のアプリをスワイプして停止させます。

ホーム ボタンがある場合

ホーム ボタンを長タップして、起動しているアプリの一覧を表示させます。

その一覧に SmartGarage のアプリがあれば、画面外に SmartGarage のアプリをスワイプして停止させます。



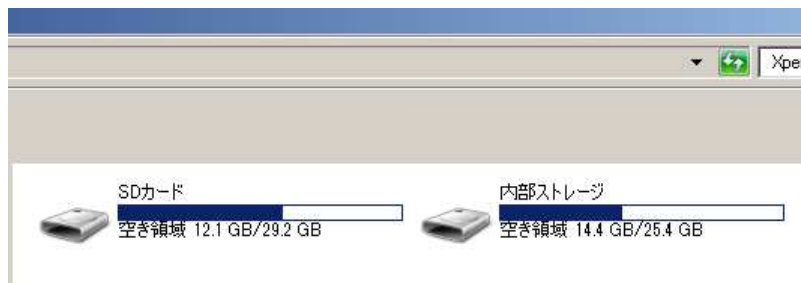
SmargGarege のアプリが一覧があれば、  
画面外にスワイプして終了させる



b. Android 端末をパソコンに接続して音声データをコピーします。

USB 接続モードを **メディア転送モード(MTP)** に設定してからパソコンに接続してください。

パソコンに接続したら、Android 端末の内部ストレージを開きます。



内部ストレージを開いたら

Android → data → com.sysdes.smartgarage → files

の順にフォルダーを開いていきます。

com.sysdes.smartgarage の files のフォルダを開くと、アプリで使用しているファイルが表示されます。



このフォルダ内にカスタマイズ用の MP3 の音声ファイルをドラッグ&ドロップしてください。

コピーが出来ると、その MP3 ファイルが表示されます。

Android 端末をパソコンから切断して、SmartGarage のアプリを起動してシャッターを動作させて効果音がカスタマイズされているか確認をしてください。

\* 複数の MP3 ファイルをコピーしないでください。

\* MP3 ファイルを変更する場合、前に使用していたファイルを削除してから、新しい MP3 ファイルをドラッグ&ドロップしてください。

\* カスタマイズ用の MP3 の音声ファイルは再生時間が短いものにしてください(3 秒程度まで)

\* s\_garage.dat、s\_remo.dat は削除しないでください。